



平成27年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月10日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4992 URL http://www.hokkochem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 喜勝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 竹田 正雄 TEL 03-3279-5152
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月10日 配当支払開始予定日 平成27年8月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年11月期第2四半期の連結業績（平成26年12月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|------|-------|-------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年11月期第2四半期 | 25,138 | 4.3 | 2,229 | 46.6 | 2,370 | 69.7 | 1,517 | 83.6 |
| 26年11月期第2四半期 | 24,113 | 14.0 | 1,521 | 168.2 | 1,397 | 85.4 | 826 | 97.5 |

(注) 包括利益 27年11月期第2四半期 2,137百万円 (220.4%) 26年11月期第2四半期 667百万円 (△48.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年11月期第2四半期 | 55.02 | — |
| 26年11月期第2四半期 | 29.95 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年11月期第2四半期 | 50,236 | 18,246 | 36.3 | 661.93 |
| 26年11月期 | 42,284 | 15,289 | 36.2 | 554.54 |

(参考) 自己資本 27年11月期第2四半期 18,246百万円 26年11月期 15,289百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-----|-----|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年11月期 | — | 4.0 | — | 4.0 | 8.0 |
| 27年11月期 | — | 4.0 | — | — | — |
| 27年11月期(予想) | — | — | — | 4.0 | 8.0 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年11月期の連結業績予想（平成26年12月1日～平成27年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-----|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 42,500 | 0.2 | 1,900 | △4.2 | 1,900 | 6.1 | 1,100 | 10.3 | 39.89 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年11月期2Q | 29,985,531株 | 26年11月期 | 29,985,531株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年11月期2Q | 2,421,284株 | 26年11月期 | 2,414,319株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年11月期2Q | 27,567,106株 | 26年11月期2Q | 27,578,870株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き企業収益と雇用の改善が進んだこと、設備投資が堅調なことから、総じて緩やかな回復基調で推移しています。しかしながら、個人消費の回復遅れや円安の定着に伴う輸入原材料価格上昇の影響が懸念されるほか、海外では新興国経済の減速、アメリカの金融緩和政策の転換による世界経済への影響などが懸念材料となっています。

国内農業につきましては、農業従事者の高齢化と後継者不足、耕作放棄地の増加など構造的課題を抱えており、国は農政の中長期ビジョンとして新たな「食料・農業・農村基本計画」を本年3月に策定し、諸施策の取組みに着手しているところです。

このような状況のもと、当社グループは、新製品の普及や国内外における新規受注の獲得に注力するなど、販売活動を強化してまいりました。

当第2四半期の業績は、売上高が251億3千8百万円（前年同期比10億2千5百万円の増加、同4.3%増）となりました。利益面では売上高の増加や生産性の向上などにより、営業利益は22億2千9百万円（前年同期比7億8百万円の増加、同46.6%増）、経常利益は23億7千万円（前年同期比9億7千3百万円の増加、同69.7%増）となりました。なお、四半期純利益は日本橋室町の再開発事業による本社移転補償金の受け入れがあったことから15億1千7百万円（前年同期比6億9千1百万円の増加、同83.6%増）となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品は国内販売において、新規水稲用除草剤の売上が伸長したことから、増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は182億1千5百万円（前年同期比3億6千1百万円の増加、同2.0%増）、営業利益は13億2千4百万円（前年同期比3億1千2百万円の増加、同30.8%増）となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の販売は、主要分野の樹脂添加剤やその他の受託品などの受注が好調に推移したことから、増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は69億4百万円（前年同期比6億8千5百万円の増加、同11.0%増）、営業利益は8億9千8百万円（前年同期比3億9千4百万円の増加、同78.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は502億3千6百万円となり、前連結会計年度末比79億5千2百万円の増加となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債の残高は319億9千万円となり、前連結会計年度末比49億9千5百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は182億4千6百万円となり、前連結会計年度末比29億5千6百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上が主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、58億7千4百万円の支出超過(前年同期は24億8千3百万円の支出超過)となりました。これは、主に売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、2億5千5百万円の支出超過(前年同期は5億6千6百万円の支出超過)となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、58億7千3百万円の収入超過(前年同期は33億9千9百万円の収入超過)となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものです。

(現金及び現金同等物の四半期末残高)

現金及び現金同等物の四半期末残高は期首残高より1億8千8百万円減少し、13億9千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の中核事業である農薬事業につきましては、年度前半の農薬需要期に売上、利益とも大きく積み上がる傾向があります。通期連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。これらを踏まえ、通期連結業績予想につきましては前回発表(平成27年1月14日)を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,443百万円減少し、利益剰余金が933百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第9号）および「地方税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第2号）が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.37%から平成27年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については33.10%に、平成28年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、32.33%になります。

この税率変更により繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）が18百万円減少し、法人税等調整額が84百万円、その他有価証券評価差額金が86百万円それぞれ増加し、退職給付に係る調整累計額が19百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,577 | 1,390 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,788 | 22,087 |
| 商品及び製品 | 9,418 | 7,699 |
| 仕掛品 | 321 | 247 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,041 | 5,283 |
| 繰延税金資産 | 537 | 350 |
| その他 | 280 | 403 |
| 流動資産合計 | 28,962 | 37,460 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,398 | 4,306 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,709 | 2,584 |
| 土地 | 776 | 776 |
| その他(純額) | 259 | 236 |
| 有形固定資産合計 | 8,141 | 7,902 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 514 | 450 |
| その他 | 388 | 388 |
| 無形固定資産合計 | 901 | 839 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,128 | 3,776 |
| 繰延税金資産 | 682 | 21 |
| その他 | 482 | 252 |
| 貸倒引当金 | △14 | △14 |
| 投資その他の資産合計 | 4,279 | 4,036 |
| 固定資産合計 | 13,322 | 12,776 |
| 資産合計 | 42,284 | 50,236 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,806 | 9,436 |
| 短期借入金 | 4,121 | 8,740 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,246 | 2,048 |
| 未払法人税等 | 484 | 772 |
| 未払費用 | 3,780 | 2,607 |
| その他 | 2,451 | 2,113 |
| 流動負債合計 | 19,888 | 25,714 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,829 | 3,422 |
| 退職給付に係る負債 | 4,107 | 2,584 |
| 資産除去債務 | 56 | 56 |
| その他 | 114 | 213 |
| 固定負債合計 | 7,106 | 6,276 |
| 負債合計 | 26,995 | 31,990 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,214 | 3,214 |
| 資本剰余金 | 2,608 | 2,608 |
| 利益剰余金 | 9,027 | 11,366 |
| 自己株式 | △1,000 | △1,003 |
| 株主資本合計 | 13,849 | 16,185 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,408 | 1,913 |
| 繰延ヘッジ損益 | 43 | 15 |
| 為替換算調整勘定 | 435 | 534 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △445 | △403 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,440 | 2,060 |
| 純資産合計 | 15,289 | 18,246 |
| 負債純資産合計 | 42,284 | 50,236 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 24,113 | 25,138 |
| 売上原価 | 18,429 | 18,877 |
| 売上総利益 | 5,684 | 6,261 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,163 | 4,032 |
| 営業利益 | 1,521 | 2,229 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 43 | 33 |
| 為替差益 | — | 115 |
| 受取手数料 | 91 | 102 |
| その他 | 44 | 87 |
| 営業外収益合計 | 178 | 336 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 87 | 76 |
| たな卸資産廃棄損 | 128 | 91 |
| その他 | 87 | 28 |
| 営業外費用合計 | 301 | 195 |
| 経常利益 | 1,397 | 2,370 |
| 特別利益 | | |
| 事業譲渡益 | 42 | — |
| 本社移転補償金 | — | 251 |
| その他 | 0 | 1 |
| 特別利益合計 | 42 | 251 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 8 | 7 |
| 事業整理損 | — | 68 |
| 本社移転費用 | — | 23 |
| 特別損失合計 | 8 | 98 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,431 | 2,523 |
| 法人税等 | 605 | 1,006 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 826 | 1,517 |
| 四半期純利益 | 826 | 1,517 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 826 | 1,517 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △115 | 506 |
| 繰延ヘッジ損益 | △18 | △28 |
| 為替換算調整勘定 | △27 | 100 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 43 |
| その他の包括利益合計 | △159 | 620 |
| 四半期包括利益 | 667 | 2,137 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 667 | 2,137 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,431 | 2,523 |
| 減価償却費 | 800 | 684 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △30 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | — | △13 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △74 | △13 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 1 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △43 | △33 |
| 支払利息 | 87 | 76 |
| 事業譲渡損益 (△は益) | △42 | — |
| 本社移転補償金 | — | △251 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △5,017 | △9,295 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 282 | 571 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 856 | 1,623 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △1,030 | △1,175 |
| その他 | 432 | △271 |
| 小計 | △2,347 | △5,574 |
| 利息及び配当金の受取額 | 43 | 33 |
| 利息の支払額 | △91 | △79 |
| 本社移転補償金の受取額 | — | 176 |
| 法人税等の支払額 | △89 | △440 |
| 法人税等の還付額 | 1 | 10 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △2,483 | △5,874 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △98 | △0 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △474 | △474 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 0 |
| 事業譲渡による収入 | 42 | — |
| その他 | △37 | 220 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △566 | △255 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 3,414 | 4,611 |
| 長期借入れによる収入 | 1,200 | 1,997 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,103 | △621 |
| 配当金の支払額 | △110 | △110 |
| その他 | △2 | △3 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,399 | 5,873 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △14 | 68 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 336 | △188 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,022 | 1,577 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,358 | 1,390 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|----------------|--------|-------------|--------|------|-------------------------------|
| | 農薬事業 | ファインケ ミカル事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,854 | 6,219 | 24,073 | 40 | 24,113 | — | 24,113 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 240 | 240 | △240 | — |
| 計 | 17,854 | 6,219 | 24,073 | 280 | 24,353 | △240 | 24,113 |
| セグメント利益 | 1,012 | 504 | 1,516 | 5 | 1,521 | — | 1,521 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|----------------|--------|-------------|--------|------|-------------------------------|
| | 農薬事業 | ファインケ ミカル事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 18,215 | 6,904 | 25,119 | 19 | 25,138 | — | 25,138 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 185 | 185 | △185 | — |
| 計 | 18,215 | 6,904 | 25,119 | 204 | 25,323 | △185 | 25,138 |
| セグメント利益 | 1,324 | 898 | 2,222 | 7 | 2,229 | — | 2,229 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。